

都市再生整備計画 事後評価シート  
高崎駅東南地区

平成29年2月

群馬県高崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	高崎駅東南地区			面積	110.0 ha
交付期間	平成25年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	889.4 百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	・道路(新体育館連絡通路整備事業) ・高質空間形成施設(競馬場通り線歩道景観整備事業) ・高次都市施設(地域交流センター整備事業)							
		提案事業	・まちづくり活動推進事業(経済文化活動組織支援事業)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	・高質空間形成施設(競馬場通り線歩道景観整備事業)			・群馬県のコンベンション施設の施工計画により、県事業として整備することとなったため		・指標については①地域交流センターの整備を中心としたまちづくりによる集客力の強化②同施設が経済文化活動等の発信の拠点として機能していくことへの機運醸成を狙った目標値であるため、削除による数値への影響はない		
	新たに追加した事業	基幹事業	・なし							
		提案事業	・なし							
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
変更	平成25年度～平成28年度									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	まちなか歩行者通行量	人/日	74,430	H24	74,430	H29	—	111,991	○	あり	東口周辺での開発計画による期待度の高まりから注目度が増し、さらに中心市街地でのオープンカフェやバルなどの新しい試みや、まちなかサイクルやぐるりん都心循環線など移動手段の多様化による回遊性の向上を図った試みにより、駅なか、あるいは目的地のみの往来で留まっていた歩行者の回遊性が向上したと考えられる。	平成30年10月
指標2	音楽センター利用回数	回/年	108	H24	130	H29	—	121	△	あり	● 音楽を始めとした文化や芸術に対する市民の機運醸成が見られ、市民団体による自主制作の創作ミュージカルなどの公演が行われるなど、新たな劇団や文化芸術活動を行う団体等の活動が活発化してきた結果であると思われる。	平成31年3月
										なし		

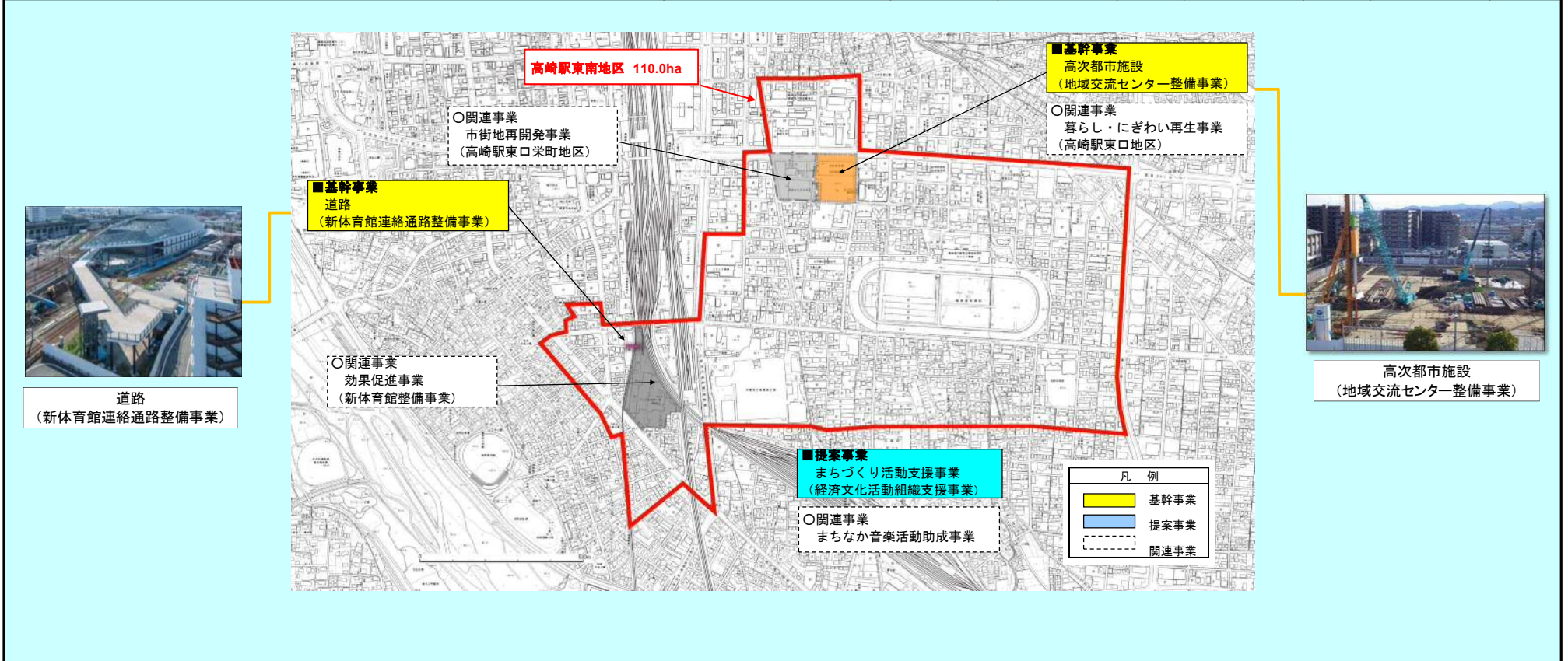
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						

4)定性的な効果発現状況  
 ・当該地区においては、駅東口がイースイトとしてリニューアルされた後、東口周辺での開発計画による期待度の高まりから注目度が増し、さらに中心市街地ではオープンカフェやバルなどの新しい試みに加え、まちなかサイクルやぐるりん都心循環線など移動手段の多様化などにより、駅なか、あるいは目的地のみの往来で留まっていた歩行者の回遊性が向上してきている。  
 ・高崎文化芸術センター(仮称)の建設を控え、新たな劇団や文化芸術活動を行う団体等の活動が活発化してきており、音楽を始めとした文化や芸術に対する市民の機運醸成が見られた。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	住民参加プロセス	モニタリング	住民参加プロセス	モニタリング	住民参加プロセス
	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた			
		都市集客施設整備市民懇談会 新体育館建設市民懇談会	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
			都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		●	今後も住民や各利用団体等の意見を充分考慮しながら、地元にも来訪者にも親しまれる施設となるよう、施設を運営する場面においても調整を図っていく。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

## 様式2-2 地区の概要

高崎駅東南地区(群馬県高崎市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【目標1】市民や来街者が集う魅力的な都市機能を集積し、都心部への集客力を強化するとともに、防災施設としての機能も果たす。 【目標2】地域の経済・文化の創造と牽引を図る。	まちなか歩行者通行量	単位: 人/日	74,430	H24	74430	H29	111,991	H28
	音楽センター利用回数	単位: 回/年	108	H24	130	H29	121	H28
		単位:						
		単位:						



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>高崎駅の西口に建設中の大型商業施設とともに、東口周辺では、高崎文化芸術センター(仮称)をはじめとした集客施設の建設と、これらの動きに誘発される民間投資による施設建設や開業が見込まれ、賑わいの創出が期待される反面、高崎駅周辺の駐車場の不足や、狭い周辺道路への対策が課題となっている。</li> <li>地域交流センターとして整備する高崎文化芸術センター(仮称)は、群馬交響楽団の新しい拠点となるが、「音楽のある街 たかさき」の芸術文化や経済産業等の資源からブランドを創造していく手段や施策を展開していくことが望まれる。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高崎」を都市としてブランディングさせていくため、魅力ある都市機能の集積と都市基盤の整備により集客力をさらに向上させ、「人・もの・情報」の交流を促進し、50万人規模の都市と同じ機能と活力を持った魅力的な都市を目指す。</li> <li>高崎駅東口周辺の高崎文化芸術センター(仮称)をはじめとした集客施設の建設により、東口への民間投資意欲も高まってきている中、駐車場整備や市道拡幅事業により渋滞の懸念等を解消する。</li> <li>機運が高まってきた市民の芸術文化活動の支援とともに、産業経済活動と一体的に「創造・交流・発信」するための支援と、それを有機的に結合させる施設と組織について検討する。</li> </ul>